

高同窓会報

松江高等学校
松江北高等学校同窓会
事務局
松江市西川津町3618
島根県立
松江北高等学校校内
4888
0655

第5号

近況ご報告



松江高校
同窓会長 森 本 暉
松江北高校

今年もまたあわただしく一年が暮れようとしておりますが、卒業生の皆様にはその後も益々お元気で各分野に活躍のことと思っております。

松江北高移転改築のことにつきまして、はかねてよりこの会報や各種の会合等でご存知のとおり、既に今年の一、二月、旧島大附属中学校跡地に松江一中校舎が完成し、四十九年度から新校舎に移転して授業を開始しております。しかしながら松江北高校舎新築工事は残念ながら国の総需要抑制政策によって起債財源がどうしても認められず、遂に一年着工を延期せざるを得ない事態になりました。しかし今年の当初予算では地質調査費が、また九月補正予算では校地造成費がそれぞれ予算化され、現在赤山台では、旧一中校舎がとり除かれ、盛んに整地作業が行われています。

くの方のお力添えを、ここに再度でございますが、お願い申し上げます。この上は、かゝる事態を十分ご賢察の上、当初目標を少しでも上回る募金がかねえられ、希望する次第であります。

昭和48年度 会計決算報告

費目	金額	備考
入会金	77,800	全日制 722,000 通信制 49,800
前年度繰越金	1,409,749	
利息	94,842	
合計	2,276,391	

費目	金額	備考
会議費	99,000	近畿・東海・北陸・山陽・四国・九州・沖縄各支部等
印刷費	83,500	同窓会報、振替用紙、卒業生名簿
記念品費	174,750	卒業生記念品
通信費	87,655	
幹事会費	43,480	
雑費	19,105	ゴム印、用紙等
合計	507,490	

次年度繰越金 1,768,901



募金現況

昨年来の、すまじい物価騰貴に、一時は関係者一同肝を冷やしましたが、高騰に負けてなるかと大号令の発せられた卒業期もある由、心づよいことです。同窓会館は予定通り建ちます。けれども、全期を通してみますと、未だしの感がございます。尤もこれまで着工延期、又延期という事情のため、募金の方もすぶりがちだった訳です。が、さて、来年から愈々着工の由です。卒業生一同、「完全燃焼」を期したいものです。能ある者は……と申します。松高・北高同窓生の底力を発揮いたしましょう。

昭和49年11月15日現在

期	募金額(万円)	離出額	目標額に対する割合	離出者数(卒業生数)	卒業生に対する割合
1	150	100.8	67.2	78 (294)	26.5
2	150	113.6	75.7	99 (538)	18.4
3	150	36.3	24.2	73 (688)	10.6
4	150	16.2	10.8	40 (492)	8.1
5	100	13.1	13.1	51 (609)	8.4
6	100	36.8	36.8	120 (609)	19.7
7	100	34.5	34.5	81 (625)	12.9
8	100	58.7	58.7	95 (628)	15.1
9	100	13.4	13.4	37 (661)	5.1
10	100	31.4	31.4	71 (649)	10.9
11	100	18.3	18.3	56 (639)	8.8
12	60	11.6	19.3	43 (664)	6.5
13	60	9.2	15.3	36 (709)	5.1
14	60	9.6	16.0	36 (703)	5.1
15	30	4.1	13.7	15 (296)	5.1
16	60	11.1	18.5	44 (464)	9.5
17	60	7.3	12.2	34 (590)	5.8
18	60	9.9	16.5	36 (608)	5.9
通信	30	14.9	50.0	58 (300)	19.3
その他		5.1		25	

離出者数 5,559万円
離出者数 1,128人
平均離出額 4,928円
全卒業生に対する離出者の割合 10.3%

◎募金済の方も振替用紙を御送付いたしました。御送付の都合です。御海客下さいませ。第十九期以降は募金対象としていません。

松江北高校 移転改築経過と現状



島根県教育長
大久保正厚
(松江中学昭和16年卒)

北高は松江市の都市計画、特に三大橋架橋計画が具体的に現れ、現地から移転せざるを得なくなり、昭和四十一年五月の創立九十周年記念式典は、さまざまな主観的・客観的条件の中で、旧松中ゆかりの赤山を主会場として催されたのです。松江北高移転改築期成同盟会に結集されている関係各位の御要望が、赤山を移転候補地として強く推されるのも、こうした経緯によることと存じます。

松江北高校が赤山へ移転改築の大方針が決定された時点において、県教育委員会ではその校地の面積及び校舎の配置等を具体的に検討してまいりました。はじめに校舎敷地と屋外運動場との位置の関係については、まず赤山の二本松台地を中心にして、従来からグラウンドとして使用していたところの東半分を小グラウンドとして使用し、西半分を校舎敷地に使うよう考えました。

校舎敷地の利用については、南側に管理棟、教室棟を二列に配し、その北側の奥部へ屋体を配置するよう検討しています。グラウンドについては高校基準に比べ現一中跡地は狭隘であるためトラックと野球場の確保のできる黒田町西原ぞいに屋外運動場候補地を求め、すでに主運動場として使用できる校舎の改築計画については目下計画中であり、その概要について説明してみたいと思います。

北高の改築事業については、現在の校舎が危険校舎であるため、危険改築事業として文部省に認定申請をいたし、国の補助を得て実施する予定です。建築計画については、校舎は鉄筋コ

ンクリート造四階建にし、校舎の並びに東西に並列型配置にし南面より管理棟・特別教室棟、後列に教室棟を配し総面積は九五六・七五平方メートル(案)の規模のものであります。この平面計画を決定するにあたっては、規模の基準となりまして学級数が全日制三〇学級、通信制二学級、補習科二学級で計画しています。

屋体の配置は、北側の二本松より配置し、屋体と校舎は張り廊下にて連絡するよう計画しています。県下でも大規模のもので梁間三六米・桁行五二米で鉄筋・鉄骨造二階建ピロチイ方式により一階部分に格技場(剣道場、柔道場)を設けるよう計画しています。なおこの体育館は国体施設の一環として前向きに整備するものであり、国体開催時には球技(バスケット)に使用の予定でございます。

移転改築の全体計画と建設年次ですが、本年度整地工事を完了したうえで、建物については、向う三ヶ年計画で実施する計画であります。この年次計画に伴う予算措置と進行状況は、現赤山一中跡地の校舎はすでに撤去も済み、県において跡地のため九月補正予算で約九百万円が認められ、本年度中に完了する予定であります。屋体については九月補正で要求いたしました。国の総需要抑制の方針のもとで県財政事情もきびしく財源見とおしが困難なため、起債決定まじりという状況であります。校舎(教室棟)については、昭和五十年六月の補正予算で要求するようすでに作業を進めております。

なお、校舎の平面図の設計にあたっては、施設課と学校側の建築委員会と数度にわたり協議をかさね、ご意見・ご要望を計画にみいれ、ご共にもっとも教育的な平面設計ができるよう、に研究を重ねている次第です。

高校総合体育大会

輝く一連勝

二年連続 五度目の王座に!!

第十二回島根県高校総合体育大会は、六月七日から三日間、二十競技が県下三十二会場で行なわれた。北高は十三競技に参加し、各選手は最後まで力いっぱいゲームを展開し、各競技に安定した力を発揮、着実に得点を重ね、堂々二年連続五度目の優勝を成し遂げた。

結果ならびに上位入賞は次の通り。

〔総合成績〕

男女総合 ①松江北 72点 ②松江 67 ③出雲商 48

男子総合 ①松江 67 ②松江北 38 ③浜田 23

女子総合 ①出雲商 36 ②松江北 34 ③浜田商 28

〔種目別成績〕

陸上男子 総合五位

▽棒高跳び ①三島 ②砲丸投げ ③早川 ④五種競技 ⑤早川

▽走り高跳び ①市場 ②三段跳び ③石橋

陸上女子 総合三位

▽砲丸投げ ②川上 ③五種競技 ④大野 ⑤百M障害 ⑥大野

▽四百MR ③松江北 ④走り幅跳び ①佐藤 ②円盤投げ ③高尾

体操男子 団体総合五位

体操女子 団体総合四位

バスケット男子 団体総合四位

準決勝 松江北77—51松江南

決勝 松江北71—54松江北

バスケット女子

準決勝 松江北61—53隠岐

決勝 松江北56—55松江商

軟式庭球男子

決勝 松江工4—3名和川・吉田

団体準決勝 松江工2—0松江北

準決勝 安来4—1松本・小山

軟式庭球女子

団体準決勝 松江工3—0松江北

準決勝 男女ともベスト16

ボート男子 ナックルフォア 一位

ボート女子 ナックルフォア 一位

柔道 予戦リーグで借敗

卓球男子 借敗

卓球女子 団体 ベスト16

弓道男子 予戦リーグで借敗

弓道女子 団体 四位

硬式庭球男子

今春、男子二五八名、女子一五二名が松江北高から卒業していきました。

年々厳しくなる受験競争の中、見事難関を突破した者、来春に捲土重来を期する者、等々悲喜交々の卒業生風景でした。いづれにせよ、広い社会の中に飛び出していった卒業生達の今後の活躍に期待したいと思います。

合格校は以下の通りですが、紙面の都合で四年生大学しか載せられません。が、短大、各種学校にも延八九名が合格しております。

昭和48年度進路状況

- 〔国立大学〕 東北大(一) 弘前大(一) 宇都宮大(一) 群馬大(一) 埼玉大(一) 東京大(四) 筑波大(五) 東京芸大(一) 電通大(一) 東京学芸大(一) 東京農工大(一) 新潟大(一) 金沢大(一) 富山大(一) 山梨大(一) 静岡大(一) 名古屋大(一) 名古屋工大(一) 岐阜大(一) 京都大(一) 京都教大(一) 大阪大(一) 大阪教大(一) 神戸大(一) 神戸商大(一) 鳥取大(一) 岡山大(一) 鳥根大(一) 広島大(一) 山口大(一) 香川大(一) 徳島大(一) 高知大(一) 愛媛大(一) 九州大(一) 九州工大(一) 九州大(一) 佐賀大(一) 長崎大(一) 官崎大(一)

創立百周年記念

創立百周年を記念して、来春五月上旬に、同窓会名簿を刊行することになりました。現在の名簿は四十六年の春に発行いたしました。その後、千六百名あまりの会員を迎え、さらに、会員諸氏が社会の中堅として活躍している関係、現名簿では大学在学中の方もすでに社会人として活躍しておられる等々で、多くの会員の下の、勤務先や

双松のこと

池橋達雄 門之助は、嘉永六年(一八五三)生れて、慶応三年(一八六七)祖父から家を相続したが、直後維新である。かれは非常な秀才で、渡欧してフランスに学び、帰期して住友に入社、明治九年ふたたびフランスで鉱山学を学び、足尾や別子の銅山を開発した。この双松の雄々しさが強く松江中学の教師生徒に意識されるようになったのは、明治三十九年、創立三十年記念式のところからである。明治四十年に就任した西村房太郎校長は、校訓「質実剛健」とともに、双松を赤山精神の象徴と定めてきたのである。(松江北高百年史執筆委員)

同窓会名簿発刊

創立百周年を記念して、来春五月上旬に、同窓会名簿を刊行することになりました。現在の名簿は四十六年の春に発行いたしました。その後、千六百名あまりの会員を迎え、さらに、会員諸氏が社会の中堅として活躍している関係、現名簿では大学在学中の方もすでに社会人として活躍しておられる等々で、多くの会員の下の、勤務先や

やがて松江北高校が移る赤山には、ご承知のように「双松」がある。旧松江中学が質実剛健という赤山精神の象徴として仰いだ松である。その双松をまた北高生が仰ぐわけである。私は、松江中学明治期の歴史を調べるなかで、この双松についてもいさゝかのことを調べた。

赤山に殿町にあった松江中学が移ったのは明治三十年五月のことである。松江中学の校地となる前の赤山は、畑のなかに十あまりの屋敷が点在する台地で、周囲は雑木林や竹藪であった。松江中学の移転候補地としては、一時赤山が有力であり、床几山も候補に上ったが、県側、学校側の一致した意見で赤山に決定、明治二十九年四月から工事が始まった。

住所が変わっています。勤務先・住所を認める意味で、会報に同封してハガキを入れておきますので、該当事項を記入してご投函下さい。ハガキ発送後転宅等の場合は、四月十五日までにご連絡いただき、原稿を訂正することが可能です。その際は、早急にご一報下さい。十八期(四十二年三月卒業)以降の方については、在学中または就職されたりして、事務局としては住所等を正確に把握できかねておりますので、北高在学中の住所に会報をお届けし

名簿のお申し込みは、五十年五月以降、松江北高内、同窓会事務局へ。B5(週間誌大) 約四百五十頁 予価 千五百円